

# Access Report

2018年 10月5日号  
アクセス教育情報センター

## 目次

学校情報	公開模試情報	教育情報	教育情報	その他
・栄東中 ・東海大相模	・四谷大塚9月 ・9月三模試合計	・大学定員厳格化 ・英語民間検定 ・教員時間外勤務	・大学ランキング ・高1調査 ・eポートフォリオ	・名言・迷言・冥言 ・国語世論調査 ・校長座談会

## 学校情報

### 栄東中 塾対象説明会(2018年7月4日)

#### 3)2019年入試概要

A日程 1月10日 難関大140名・東大20名 4科

東大Ⅰ 1月12日 東大30名 4科

B日程 1月16日 40名 4科

東大Ⅱ 1月18日 30名 4科または算1科

A日程は難関大クラス合格。東大クラスへのスライド合格あり。

東大Ⅰは東大クラス合格。合格者全員特待生。

B日程は難関大クラス合格のみ。

東大Ⅱは東大クラス合格。特待生合格あり。

A日程は栄東中高、埼玉栄中高、栄北高での受験が可能。

出願はインターネット出願。2018年12月10日より。

受験料は2回まで25000円。4回まで30000円。

合格発表はインターネットで。得点开示あり。

入学手続きは各回とも2月7日16時まで。

各回とも合計点数で合否判定。教科ごとの最低基準点はなし。

B日程入試が本校2回目以上の受験の場合、合計得点20点(国算各6点、理社各4点)を加点。  
繰り上げ合格がある場合には第一志望者を優先。

#### 4) 東大Ⅱ算数1科入試について

来年度入試より東大Ⅱの日程で、従来の4教科型との選択で、算数1教科入試を導入。

いま議論されている大学入試改革では、激しく変化するこれからの時代を生きていくために知識の量だけでなく、自ら考えて判断し、課題を解決できる力が求められています。本校ではこのような力を判断する材料の一つとして算数1科入試を導入することとしました。以下従来の入試の算数①、新たに設けた算数1科入試の思考力、表現力を重視した算数を算数②と表記します。来年度の東大Ⅱ入試の各科目の配点と試験時間は下の通り。

#### 4教科型

国語	算数①	理科	社会	合計
150	150	75	75	450
50分	50分	40分	40分	

#### 算数1科型

算数②	算数①	合計
150	150	300
50分	50分	

これにより算数1科入試を選択した受験生は合計300点満点をすべて算数が占めることとなります。  
可否の判断基準は4教科入試とは別に行います。

算数②は思考力、表現力を重視した入試で時間は50分、大問2問から3問の出題です。出題される問題は小問に分かれた誘導形式になっておりじっくりと考えることができます。問題文中から考え方がわかり、それに従って論理的に回答を進めていくような問題です。算数好きの受験生にぜひ受験してもらい、東大合格、東大特待合格を取ってほしいと思います。

#### 追記

各教科6割～6割5分を目標に設定。今年度、理社が受験者平均で6割5分～7割であったため来年度は難しくする。規則性、平面と空間を重ねる図形問題をメインに作るが少し骨のある問題にして難しくする。A日程、B日程入試は基本をベースで、東大入試は考えてもらおう問題。東大Ⅰは開成、灘を意識して作っており、特待入試なので難しく、Ⅱはそれよりは少しやさしい。A日程よりB日程の方がやさしい。合格者数は昨年同様くらい出す。

(報告 G. Wa)

<http://www.sakaehigashi.ed.jp/>

## 東海大相模 塾対象説明会(2018年9月28日)



#### 1)挨拶 校長 大金先生

日頃からのご支援有り難うございます。

今春は、神奈川県内の私学が募集に苦戦している中で、中高とも入学者を確保できる。

現在、中学は1学年160名。40名×4クラス編成。

1クラス40名は多いのではと言われる。教科によっては分割授業を取り入れているが、将来はクラス人数を減らすことも検討している。

高校も1学年540名。このままで良いのか検討している。

学習指導要領、大学入試が変わろうとしている。中高も変わらざるを得ない。

建学の精神を変えずにどう対応していくか。

東海大相模はこれまでも他に先駆けた教育を行ってきた。今、文科省が言っていることは、東海大学も含め、これまでにやってきている。

ただ、その伝え方が下手だった。

中高の入学者には、東海大相模に入学するということは、東海大学という学園にはいること。学園が何を考え、何をしようとしているか理解してほしいと伝えている。

東海大相模は入学後、総合力をつけるための学習を行う。

大学に行って、他の人を引っ張れる人間力をつける。そのためには、他校でやらなくなったこともきちんとやる。東海大相模は厳しいと言われるが、それは常識として当たり前のことを当たり前に行っているだけ。

大学受験型の学校ではない学校を望む子、自分の個性を伸ばしたいという子に東海大相模を紹介してほしい。

塾に1人でも東海大相模に興味のある子がいれば、担当者が出向いて話をさせてもらう。

#### 4)中学校について 副校長 江崎先生

中学から入学した生徒は10年預かりたい。建学の精神が10年かけて生徒を育てる。

ホームカミングデーを毎年行っている。50歳になったら学校に戻ってくる。今年、中等部1期生が50歳に。この学年の卒業生600名中230名近くが集まる。

教員は多感な時期の生徒に寄り添う。生徒を引っ張るのではなく後押しをする。

中等部から東海大相模高校へは100%が進学する。

高校から東海大学へは80%が進学。

今年、医学部に9名進学したがうち5名は中等部の生徒。航空技術に3名進学したが3名とも中等部の生徒。

大学への進学で終わるわけではない。その後の人生を楽しめる力をつける。

東海大学の就職内定率は98.6%で、国公立大学の内定率より高い。

**\* ICT教育**

中学生全員がIpadを使用。

教科書、ノートと同じで教材として使いこなして、利用すればよい。

HRや授業で使用している。宿題や家庭への通知などの情報がアップデートされる。

授業ではちょっとした調べ物に利用している。1クラスで40人の調べ方がある。

**\* オンライン英会話**

希望者対象で放課後セブ島とつながり英会話を楽しむ。中1は70名が、中学全体で100名が参加。

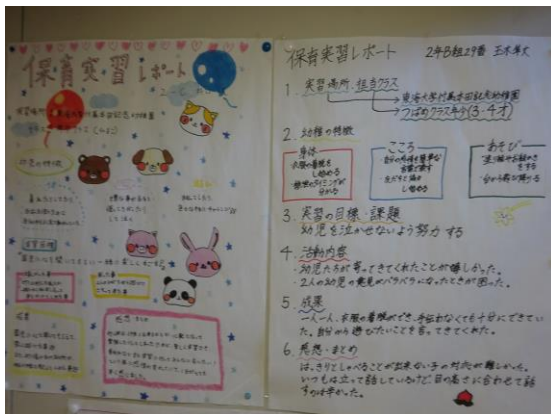
**\* オンライン英語**

授業の中で実施。日本人教師に習った英語を使って、ネイティブ相手に復習する。

英語をコミュニケーションの道具として使う。

**\* いろいろな経験…未来の自分のために**

- ・中1 コミュニケーション能力をつける
- ・中2 保育実習…幼児の服のボタンを留める体験が新鮮。小さい子に優しくすることで、自分もそうされて育ってきたことを思い出す。



- ・中3 職場体験…3日間。仕事を体験するだけでなく、お金を稼ぐ大変さを知る。

**\* 学園のスケールメリットを生かした取り組み**

- ・海洋学部体験
- ・異文化交流体験(中1)…東海大学に来ている非英語圏の留学生20名と交流。いろいろな国の人と地球規模での交流が出来る。
- ・山中湖英語研修…春休みにネイティブが担任となって、3泊4日の宿泊研修を行う。
- ・大学に行つての授業体験

・学園オリンピック…180名ほどの参加者に指導講師は120～130名。英語部門は6日間日本語なしで過ごす。

・ハワイ東海大インターナショナルカレッジ…アメリカで認可されているカレッジ。卒業するとハワイ大学や、他の米国の大学に進学が可能。中3時に16日間研修で行く。生徒は考え方が変わって帰ってくる。

#### \* 学園の1日

・朝学習 8:25～35。1日を落ち着いてスタートさせる。生徒のその日の様子を見る。

月・金は朝読書。火・水・木は朝学習。

#### ・50分授業

数学は少人数授業。2クラスを3分割にして。

#### ・充実のサポート・チャレンジ

英検・漢検・数検…全学年で実施。

学力検査…全学年で。中3は年2回実施。

GTEC受験…中2・中3。

ニュース検定…中3。

定期試験…年5回実施。

試験1週間前はクラブ活動を停止。

試験前サポート…自習、補習の補助を行う。

試験後サポート…平均点の60%以下は1週間部活を停止し、補講をして再試験。

中3の12月学力テスト…5教科の学力を確認。学力不足の科目については、1月から7時限目の授業を行い、確かな学力を持って高校に進学をさせる。

#### ・部活

中学生の90.9%が加入。運動部11、文化部12。これらの部活はすべて高校にもある。

高校の将棋全国大会に出場したのは全員附属中からの生徒。

#### ・クラス

1学年4クラス。

中1 4クラス173名。

中2 4クラス143名。

中3 4クラス170名。

男女比は6:4。

#### \* 2018年入試結果

	A試験	B試験	C試験
募集人数	110	35	15
応募者数	215	226	235
受験者数	196	83	50
合格者数	135	46	24

合格者の手続率が高く、繰り上げ合格は出していない。



\* 2019年入試

変更点はない。

A試験 2月1日 男女110名 2科、4科のいずれか 面接

B試験 2月3日 男女 35名 国算、国社理、算社理のいずれか 面接

C試験 2月4日 男女 15名 2科、4科のいずれか 面接

出願はweb出願のみ。B試験、C試験は前日まで受け付け。

B試験は国算、国社理、算社理とも200点満点。合計点の高い順に合格を決める。

\* 面接について

面接は受験生5人1組のグループ面接。1組15分程度。

質問は基本的な質問。志望理由、小学校時代のこと(思い出など)、中学に入って(夢・希望など)。

服装は普段着でよい。

2科受験の場合は、12時30分までに終了。

3教科以上の受験の場合、14時15分までに終了。

\* 入試問題傾向

国語…大問4題

・国語常識 A試験では「聞き取り問題」、B試験・C試験では「話す、聞く、書く」力を問う問題を出題。

・書き取り 漢検5～6級レベル。トメ、ハネ、ハライをしっかりと見る。

・物語文・エッセイ 登場人物の心情や物語のテーマを読み取る。

・説明文・観察文 筆者の主張や指示語を読み取る。

算数…大きく分けると4つのタイプ

・基本的な四則計算

・いくつかの小問(一行問題)

・グラフを利用した問題

・パズル的な問題

理科…生物、地学、物理、化学の各分野から1大ずつ。教科書レベル。

・実験、観察をもとにした問題

・計算問題、記述問題

・時事問題

社会…地理、歴史、公民の分野から出題。教科書レベル。

・地理 日本全体および各地の自然や産業の特色について

・歴史 すべての時代から広く

・公民 国の基本的な政治のしくみ

<http://www.sagami.tokai.ed.jp/>

---

## 公開模試情報

## 四谷大塚9月 合不合判定テスト(9月16日実施)

前年比2.5%の増加。男子は1.2%の増加、女子は3.8%の増加。

	13年	14年	15年	16年	17年	18年
男子 4科	7336	6847	6973	6887	6993	7094
2科	504	459	484	415	446	453
女子 4科	6432	6124	6204	5983	6017	6236
2科	394	412	420	348	417	442
合計	14666	13842	14081	13633	13873	14225

## 9月三模試合計

三模試合計で前年比2.8%の増加。男子は2.1%の増加、女子は3.5%の減少。

	13年	14年	15年	16年	17年	18年
男子 4科	18192	17967	17698	17597	17765	18069
2科	1606	1644	1678	1642	1752	1857
女子 4科	18144	17514	17281	17176	16898	17405
2科	1508	1677	1783	1850	1986	2144
合計	39450	38802	38440	38265	38401	39475

---